



2024年2月13日

各 位

会 社 名 大王製紙株式会社  
代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 若林 頼房  
(コード番号 3880 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役 常務執行役員  
経営企画本部長 品川 舟平  
(TEL. 03-6856-7500)

会 社 名 北越コーポレーション株式会社  
代表者名 代表取締役社長CEO 岸本 哲夫  
(コード番号 3865 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役CFO 柳澤 誠  
(TEL. 03-3245-4500)

### 大王製紙株式会社と北越コーポレーション株式会社との 戦略的業務提携に向けた検討開始に関するお知らせ

大王製紙株式会社（以下「大王製紙」といいます。）と北越コーポレーション株式会社（以下「北越コーポレーション」といいます。）は、紙パルプ業界を取り巻く厳しい経営環境の下で、両社が抱える経営課題を解決し、両社の企業価値の更なる向上を図るために、戦略的業務提携（以下「本業務提携」といいます。）に向けて具体的な検討を開始することに本日合意しましたのでお知らせいたします。

#### 1. 本業務提携の背景・意義

大王製紙と北越コーポレーションは、それぞれ「ものづくり」を通じて地域社会との共生に取り組んできた製紙メーカーであり、今後も、顧客・株主・取引先・地域社会・従業員などあらゆるステークホルダーから信頼される企業を目指しております。

両社は、印刷情報用紙をはじめとした国内紙の需要の減少や需要構造の変化、木材チップ・石炭・重油など原燃料価格の高止まりなどに加え、国内物流における2024年問題や環境負荷低減対応などの社会課題解決が求められる厳しい経営環境の中、基幹工場の構造改革による競争力強化及び事業ポートフォリオの変革が重要な経営課題であるとの認識を共有しております。

これら課題解決に向けてそれぞれが個社単位で施策に取り組むよりも、両社が協業して構造改革・収益基盤の強化を目指していくことが、より迅速に効果を発現できるとの考えに合意し、本業務提携に向けて具体的な検討を開始してまいります。

本業務提携では、両社の独立性と健全な競争関係は維持しつつ、各々の強みを活かして補完し合うなど、両社の中長期的な企業価値向上に資する取組みについて積極的に検討を進めてまいります。

## 2. 本業務提携に向けた検討開始に至った経緯

大王製紙と北越コーポレーションは、両社の関係改善に向けてトップマネジメント間の面談を含めて意見交換を重ね、2023年9月に両社間で秘密保持契約を締結し、「生産技術」「原材料購買」「製品物流」などの取組テーマにおいて分科会レベルでの初期的検討・協議を重ねてまいりました。

今後、本年5月頃を目途に本業務提携の契約締結を目指して、両社間で協議を進めてまいります。

## 3. 本業務提携の主な取組みテーマ

現時点における本業務提携の主な取組み対象は以下の通りです。既存の取引先との関係を尊重しつつ、今後、分科会を通じて各施策の実現可能性や効果について検討・検証を進めてまいります。

### (1) 生産技術

- ・ 紙・パルプの生産性・品質向上、原価低減に向けた技術協力
- ・ OEMなど生産協力体制の構築（洋紙、段ボール原紙など）
- ・ 遊休品・予備品の共有・相互活用
- ・ 機械修理・設備保全に関する情報交換によるメンテナンスコスト低減
- ・ 工場運営に関する情報共有（安全衛生、工場DX化、技術継承など）

### (2) 原材料購買

- ・ 各種原材料調達プロセスの効率化（BCP対応やCO<sub>2</sub>削減など）
- ・ 木材チップ調達における協力体制の構築
- ・ 自製パルプ及び各種原材料の相互融通
- ・ 海外における植林事業のノウハウ共有

### (3) 製品物流

- ・ 両社グループの物流網を活用した交錯物流の改善
- ・ 両社の生産拠点間のラウンド輸送
- ・ コンテナの有効活用によるモーダルシフト推進
- ・ 物流倉庫の相互活用及び共同配送

また中長期的には、新技術等の共同研究やエネルギー転換、DX推進、森林資源活用等のテーマについても検討を進めてまいります。

## 4. 各社の概要（2023年3月31日現在）

大王製紙

(1) 所在地	東京都千代田区富士見二丁目10番2号 飯田橋グラン・ブルーム	
(2) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 社長執行役員 若林 頼房	
(3) 事業内容	紙・板紙製品及び家庭紙製品の製造・販売	
(4) 資本金	53,884百万円	
(5) 設立年月日	1943年5月5日	
(6) 大株主及び持株比率	北越コーポレーション株式会社	24.8%
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	7.4%
	大王海運株式会社	5.0%

		株式会社日本カストディ銀行（信託口）	4.3%	
		株式会社伊予銀行	4.2%	
		株式会社愛媛銀行	4.1%	
		愛媛製紙株式会社	3.2%	
		カミ商事株式会社	2.8%	
		OASIS JAPAN STRATEGIC FUND LTD. （常任代理人 シティバンク エヌ・エイ東京支店）	2.8%	
		農林中央金庫	2.5%	
(7)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	2023年3月31日時点における大王製紙の北越コーポレーション普通株式の持株比率は1.4%です。	
		取引関係	該当事項はありません。	
		人的関係	該当事項はありません。	
		関連当事者への該当状況	北越コーポレーションは大王製紙のその他の関係会社です。	
(8) 大王製紙の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態				
	決算期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
	連結純資産	246,788百万円	266,704百万円	244,670百万円
	連結総資産	849,801百万円	840,441百万円	923,531百万円
	1株当たり連結純資産	1,440.33円	1,561.52円	1,414.73円
	連結売上高	562,928百万円	612,314百万円	646,213百万円
	連結営業利益	36,873百万円	37,569百万円	△21,441百万円
	連結経常利益	34,478百万円	37,696百万円	△24,050百万円
	親会社株主に帰属する当期純利益	22,115百万円	23,721百万円	△34,705百万円
	1株当たり連結当期純利益	138.73円	142.91円	△209.01円
	1株当たり配当金	17.00円	22.00円	16.00円

※ 持株比率は自己株式を控除して計算しています。なお、自己株式には、株式交付信託及び持株会信託により信託銀行が所有する株式は含んでいません。

#### 北越コーポレーション

(1)	所在地	新潟県長岡市西蔵王三丁目5番1号	
(2)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長CEO 岸本 哲夫	
(3)	事業内容	紙・パルプ製品の製造・販売	
(4)	資本金	42,020百万円	
(5)	設立年月日	1907年4月27日	
(6)	大株主及び持株比率	美須賀海運株式会社	11.2%
		日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	7.9%
		MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB （常任代理人 BOFA 証券株式会社）	7.1%
		株式会社第四北越銀行	4.9%
		北越コーポレーション持株会	4.1%
		NOMURA CUSTODY NOMINEES LIMITED OMNIBUS-FULLYPAID （CASHPB） （常任代理人 野村証券株式会社）	3.8%
		住友不動産株式会社	3.6%
		CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL （常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店）	3.6%
		OASIS JAPAN STRATEGIC FUND LTD.-CLIENT ACCOUNT （常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店）	3.3%
		株式会社日本カストディ銀行（信託口）	2.9%
(7)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	2023年3月31日時点における北越コーポレーションの大王製紙普通株式の持株比率は24.8%です。

	取引関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	大王製紙は北越コーポレーションの持分法適用関連会社です。	
(8) 北越コーポレーションの最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
	決算期	2021年3月期	2022年3月期
			2023年3月期
連結純資産		195,419百万円	216,974百万円
連結総資産		363,075百万円	376,956百万円
1株当たり連結純資産		1,159.49円	1,286.82円
連結売上高		222,454百万円	261,616百万円
連結営業利益		1,701百万円	20,456百万円
連結経常利益		9,756百万円	29,514百万円
親会社株主に帰属する当期純利益		14,172百万円	21,206百万円
1株当たり連結当期純利益		84.40円	126.22円
1株当たり配当金		14.00円	24.00円

※ 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

## 5. 今後の見通し

本業務提携による来期以降の両社の業績への影響については今後検討・検証してまいります。中長期的な両社の企業価値向上に資するものと考えております。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上